

令和2年度 卒業証書授与式 学校長式辞

つい先日の雪にも関わらず、早田川の桜は、既に小さなつぼみをつけ、春の兆しが感じられる今日のこの良き日に、本校PTA会長 東田啓一朗 様、同窓会会長 中村 源次郎 様をはじめ、ご来賓、保護者の皆様にご臨席を賜り、令和2年度岐阜県立岐阜北高等学校の卒業証書授与式を挙行できましたことを、心より感謝申し上げます。

ただ今、卒業証書を授与しました300名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。思えば、3年前の入学式、満開の桜の中、真新しい制服に身を包み、これから始まる高校生活に期待と不安に胸を膨らませながら、本校での生活の第一歩を踏み出されました。高校での学習の質と量に戸惑いながら、勉学に、部活動に、学校行事に、無我夢中で取り組まれてこられました。

特に新しい大学入試制度での受験を控えた最後の1年は、本校が創立80周年を迎えた記念すべき年でもありましたが、新型コロナウイルスの世界的な大流行により、皆さんの高校生活は不自由で、ストレスのかかるものとなり、それを見守る保護者の方々の心情も察して余りあるものでありました。

「危機の時にこそ、その人の真価が分かる」という校章の柏の由来の言葉のように、この危機の中で皆さんは、できうる最大限の努力をされたと思います。自ら感染防止のガイドラインをつくって臨んだ北高祭、球技大会の翌日の休日には早朝から模擬試験に真剣に取り組む姿など、北高生の頑張る姿を各所で見せていただきました。

さて、これから将来のために、高校生活だけでなく、世界経済や産業構造にも大きな変化をもたらした新型コロナウイルスを例に、話をさせてください。

中国の一地方都市から広まった新型コロナウイルス感染症について、WHOが早くから警鐘を鳴らし、国や県も緊急事態宣言など、組織的な対策を行ったのは、100年前に人類が経験した、スペイン風邪の流行があったからです。

スペイン風邪は1918～1920年まで3年間かけて3度の流行を繰り返し、世界で4,000万人以上、日本でも40万人近くの命が奪われました。一斉休校やマスクの着用など、今と同じような対策が取られましたが、世界の約1/3の人が感染し、集団免疫を獲得して自然に収束するのを待つしかありませんでした。同じ歴史がまた繰り返されるのでしょうか？

最近、日本でもワクチンの接種が始まったとの報道を聞いたと思います。この100年の間に、人類は、DNAやRNAなどの遺伝子を発見、ウイルスの発見とその増殖のメカニズム、免疫のしくみの解明など、多くの実験や研究によって、知識と技術を積み重ねてきました。これらの知識を総動員し、新型コロナウイルスのワクチンは、ウイルスのmRNAの一部を使うという全く新しい手法が使われています。ウイルスの遺伝子配列が特定された昨年1月には既に製造に着手し、驚異的なスピードで治験が行われ、認可がされています。約95%の有効性が報告され、この夏に一般まで普及することで感染が収束するものと思われる。

ワクチンの開発は、皆さんがこれから進学される大学での研究が大きく貢献したことは勿論、生産、輸送、行政の主導による各医療機関での接種など、ワクチンが我々の手に届くまでに、数多くの人々の協力・協働があることに気づいて欲しいと思います。

昨日の中村同窓会長のごあいさつで、「世のため、人のため」という言葉を使われましたが、皆さんが今後、大学での研究や、社会で仕事を持って働くことで、それがどのような分野で、どのような関わり方であっても、人々と協力することで、何らかの形で、世のため人のために貢献することになるのだと思っています。

そして、これまで長い年月をかけて人類が積み上げてきた大量の知識を分析し未来を予測するのが AI です。新型コロナウイルスに研究でも、AI によって世界中の研究論文が分析され新型コロナウイルスの特徴が明らかにされてきました。昨日の中村同窓会長のごあいさつで、「パラダイムシフト」＝価値観の変革という言葉をつかいましたが、皆さんはこのような新しい世界の中で、自身の未来を切り拓いていくのです。

さあ、卒業生の皆さん、旅立ちの時です。荒野に一人立つ皆さんの前には、まだ道はありません。そして行先は自分が決めるのです。皆さんが可能性に満ちた新しい世界に向けて、自分にしかない道を切り拓かれることを心より祈っています。

最後に、ご臨席賜りました保護者の皆様。お子様のご卒業、誠におめでとうございます。

子どもたちはこの3年間、様々な経験を積み、失敗や成功を繰り返しながら、学んできました。その姿を見守り、嬉しい時には共に喜び、自信を失いかけた時には励まし、時にはともに涙されたこともあったかもしれません。そのようにしてお子様の成長を支えてくださったご家族の深い愛情と絆に敬意を表しますとともに、本校の教育活動に対し、ご理解とご支援を賜りましたことに対し心より感謝申し上げます。

お子さんの進路は国連の演説で「世界一貧しい大統領」として有名になったムヒカ大統領が政界を引退する時に語った言葉をご紹介します。「人生の成功とは、勝つことではなく、転ぶ度に立ち上がり、また進むことだ。」

卒業生の皆さんの新しい時代におけるご活躍とご多幸を、今一度、心より祈念申し上げます。式辞とします。

令和 3年 3月 1日

岐阜県立岐阜北高等学校
校長 鈴木 健